

「新人薬剤師」からの成長

新人薬剤師体験記

わたしは1年前に中国中央病院薬剤部に夢と希望をもって入職した新町です！

1年間中国中央病院薬剤部で働いて体験したこと、それで感じたことをお話していきたいと思います！わたしも1年前たくさん悩みながら就職活動しました！だから同じ悩みを抱える皆さんに1番近い立場で紹介出来ると思います！病院薬剤師って大変そう、、、とマイナスなイメージを思っているそこのあなた！是非見ていってください！

仕事内容について紹介します！

入職すると薬剤師の基本であるセントラル業務を覚えることから始まります。

セントラル業務とは、内服・注射の調剤や窓口業務、抗がん剤ミキシングなどがあります。

調剤は処方箋内容を確認し、用法用量や腎機能に応じて減量するなど注意して監査したあと薬を取り揃えます。窓口業務は検査前薬を説明したり、入院前に持参薬を確認し、術前に休薬が必要な薬の有無をチェックしたりします。大変そうって思った方、確かに初めは大変です。しかもわたしは地獄のような国家試験勉強を終えその開放感から詰め込んだ知識が全て吹っ飛んだ状態で入職しました。それでも先輩方が1から優しく教えてくださるので楽しく勉強しながら仕事できました。それでも分からないことがあればプリセプター(新人薬剤師の指導担当)の方が更に詳しく教えてくださります。歳の近い先輩薬剤師が担当するので、気兼ねなく質問できます！わたしもたくさんお世話になりました！！



新人薬剤師体験記（新町編）

セントラル業務に慣れてくると当直が始まります。

当直とは、夜に病院に泊まる当番のことです。病棟に必要な薬をあげたり、救急で来られた外来患者さんに薬の説明をしたりします。夢と希望をもって入職したわたしでも、初めて当直の話を聞いた時は絶望しました。「1人をするの！！??」「怖い！！！！」と思いました。でも、最近の調剤薬局でも夜間の患者相談をうける電話当番があったり、かかりつけ薬剤師は24時間電話対応をしたりするので、薬剤師になったからには避けられない道だと諦めました。。というのは冗談で、当直業務をやる前はプリセプターの方がしっかり教えてくださるし、それでも分からないことがあれば当直中に電話で相談することもありました！しっかりサポートがある状態だったので初めての当直も安心してできました！（ちなみに初めての当直はしっかり8時間睡眠しました笑）当直は確かに緊張するけどやればやるだけ当直手当があるので嬉しくなります！

当直に慣れてきたら病棟業務が始まります。

1年目のわたしは午前中セントラル業務で午後から病棟業務というシフトでした！病棟業務ですることは処方監査、疑義照会、服薬指導、持参薬鑑別など病院薬剤師ならではのやりがいがあります！わたしもチーム医療に惹かれて就職先を病院に選びました！先生、看護師、理学療法士など他にもたくさんの人と連携することで患者の疾患についてより深く理解することができます。例えば看護師の記録に「吐き気あり」とあればその原因が抗がん剤か癌性疼痛で使っている麻薬か考えたり、理学療法士の記録にリハビリ中に「ふらつきがあり」とあれば降圧薬や睡眠導入剤について考えたりしました。患者の訴えだけでなく他職種の記録や検査値、治療方針など考えたうえで最適な処方提案ができるのが病院薬剤師のやりがいだと思います！初めて先生と直接話し合いをして処方提案が採用された時はすごく嬉しかったです！病院薬剤師になってよかったと思う瞬間です！



私の体験記、いかがでしたでしょうか！

これを見てくださった皆様は中国中央病院薬剤部で働きたくてうずうずしているのではありませんでしょうか！！是非、中国中央病院薬剤部と一緒に働きましょう！お待ちしております☆